

自己点検・評価 様式

大学名 千葉大学

研究科・専攻名 先端医学薬学専攻

入学定員 108 名(医学領域を含む。薬学領域としては8名程度。)

○ 理念とミッション

千葉大学は、世界を先導する創造的な教育・研究活動を通しての社会貢献を使命とし、生命のいっそうの輝きをめざす未来志向型大学として、たゆみない挑戦を行う。薬学は総合的な応用科学であり、その研究により得られた知識や技術などの成果をもって人類の健康、福祉に貢献することを目的とする。基礎的研究成果の臨床医学や健康増進への展開、生命創薬科学の発展、疾病構造の変化に的確に対応した医療システムの構築、全人的視野に立った医療従事者、医学・薬学の知識を持つ専門家や先端的生命科学研究者の育成を目的とする。上記の理念、ミッションは社会の要請に合致したものであり、自己点検・評価の結果、相応しいものと認めた。

○ アドミッションポリシー

先端医学薬学専攻は、医学・薬学並びに関連分野において創造的・先端的研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識、全人的視野を有する医療従事者、生命科学研究者を育成することを目的としている。この目的の実現のため、十分な学力を基盤として、創成的医療と先端的医学・薬学研究に積極的に取り組む学生の入学を求めている。上記のアドミッションポリシーは目的に照らして、自己点検・評価の結果、相応しいものと認めた。

○ 受験資格

一般的な受験資格である6年制薬学部を卒業した者(卒業見込みを含む)及び旧薬学教育課程の修士課程を修了した者で薬剤師免許を有している者を除き、貴学の受験資格について該当するものに○を付すこと

(複数回答可)

- ① 6年制課程(医学部、歯学部、獣医学の学部)を卒業した者
- ② 外国において学校教育における18年の課程(最終の課程は、医学、歯学、薬学または獣医学)を修了した者
- ③ 修士課程を修了した者(薬科学)
- ④ 薬学以外の修士課程を修了した者
- ⑤ 旧薬学教育課程の学部を卒業した者(学力認定※)
- ⑥ その他(学力認定※) ※ 大学院において、個別の入学資格審査により、6年制の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

・上記項目4ならびに薬剤師免許を有していない者を対象とする人材養成について: 先端的薬学研究を行う生命科学者の養成、新薬開発・チーム医療を支える高度な知識と技量を備えた各種の医療システム従事者の養成を行う。

・上記項目5, 6に係る審査基準について: 大学卒業後2年以上の研究歴を有しており、自らが主体となって論文発表または学会発表の経験を有すること。

○ 入学者選抜の方法

・学力検査(外国語、専門科目(筆答試験)、面接試験)及び成績証明書等を総合的に評価して選抜する。

・4月入学、10月入学を併用しており社会の要請にこたえるよう努めている。

上記の入学者選抜の方法は、自己点検・評価の結果、相応しいものと認めた。

○ 入学者数(平成24年度) 8名

(内訳:6年制学部卒業生 6名、社会人 1名、薬学部以外の卒業生 1名)

○ カリキュラムポリシー

医学・薬学並びに関連する専攻分野において、多様な研究・教育機関の中核を担う研究者もしくは大学教員を目指す学生が、自ら研究課題を設定し、自立した研究活動を行う能力を修得する教育課程を編成し、提供する。

医学・薬学並びに関連する専攻分野において、教育研究者、高度専門職業人あるいは国際的指導者として、自ら課題を設定し、地球規模の視点から知的活動を行い、社会に貢献する能力を修得する教育課程を編成し、提供する。

医学・薬学並びに関連する専攻分野の学位論文研究において、新しい知見や価値の創造に主体的に関与する機会を提供する。学位論文研究において、具体的な研究計画の策定、研究成果の評価を踏まえた進捗管理の実践を体験する機会を提供する。

医学・薬学並びに関連する専攻分野の学位論文研究において、共同研究者や研究協力者などと専門領域の情報・知識を共有し、指導的立場に立って協調・協働して研究を推進する機会を提供する。

上記のカリキュラムポリシーは目的に照らして、自己点検・評価の結果、相応しいものと認めた。

○ カリキュラムの内容

設置されている授業科目は、別紙「教育課程等の概要」に示すとおりである。本学は医学薬学教育の連携を10年以上前から実施しており、博士課程教育に相応しいきわめて豊富な内容のカリキュラムとなっている。全体のカリキュラムの内容は、本学府の理念に基づいたものであると、自己点検・評価の結果認められた。

現1年次在籍大学院生の主な研究テーマを以下に示す。

- 1) 薬剤師による医薬品の副作用対策と患者 QOL の向上
- 2) ヒト脳毛細血管不死化細胞を用いた血液脳関門モデルの構築
- 3) テクネチウム-99m 標識ポリペプチドの腎臓集積を低減する三官能性キレート試薬の開発
- 4) 細胞内膜系における c-Src の基質探索と機能解析
- 5) Src 型チロシンキナーゼ Lyn のゴルジ領域を介した細胞内輸送経路の解析
- 6) G1/S 細胞周期同調法を用いた DNA 複製開始複合体の研究
- 7) Zinc-finger タンパク質 Lastin による細胞密度依存的な増殖抑制機構の解析
- 8) ウィントシグナルに作用する生物活性天然物の探索

○シラバス: 医学薬学府webページ掲載 <http://www.p.chiba-u.ac.jp/gakufu/sub5.html>

○課程等の概要: 別添のとおり

○履修モデル: 別添のとおり

- 博士論文の研究を推進するために医療提供施設との連携体制をどのようにとるか(予定を含む)について以下に記載すること

先端の医療に関する博士論文の研究を推進するためには、様々な医療提供施設との協働が必要となってくる。本学府では、本学医学部附属病院を中心として、千葉県下の病院、即ち、千葉県立がんセンター、国立がんセンター東病院等との連携の他、聖路加国際病院等の県外の医療機関との連携体制を築いている。さらに、社団法人千葉県薬剤師会を中心とし、保険調剤薬局との連携体制を確立して研究指導にあたる。具体的には、大学院の講義や共同研究の実施を既に開始している。

- 学位審査体制・修了要件

・4年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、論文博士の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。なお、各コース毎に以下の科目区分開講の必要単位を修得する必要がある。

先端生命科学コース、免疫統御治療学コース及び先端臨床医学薬学コース: 共通基盤講義科目1単位、系統講義科目2単位以上、展開講義科目2単位以上 計30単位以上

がん先端治療学コース: 共通基盤講義科目1単位、系統講義科目4単位以上、展開講義科目8単位以上 計30単位以上

・学位論文の全文又は一部について、査読制度の確立した学術雑誌に1報以上の筆頭著者として公表された(公表予定を含む)英文の原著論文がある者。

○ ディプロマポリシー

■ 「自由・自立の精神」

医学・薬学並びに関連する専攻分野において、多様な研究・教育機関の中核を担う研究者もしくは大学教員を目指す人材として、積極的に自立した研究活動を行うことができる。

■ 「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

医学・薬学並びに関連する専攻分野において、地球規模の視点を持ち国内外の社会と連携して自ら課題を設定し、積極的・自立的な研究開発を行うことができ、その成果を国際的・学際的に発信できる。また、教育研究者あるいは国内外の機関の指導的人材として活動するための基礎として、多様な文化・歴史に対する理解を有する。

■ 「専門的な知識・技術・技能」

医学・薬学並びに関連する専攻分野において、創造性に富む高度な研究・開発能力と豊かな学識を持ち、新たな知見や価値の創出に貢献できる。また、幅広い専門的知識や研究遂行能力を活かして高度な研究開発プロジェクトの企画・管理等を行うことができる。

■ 「高い問題解決能力」

医学・薬学並びに関連する専攻分野の情報・知識を他者と共有しながら指導的に協調・協働し、知識基盤社会を支える新たな知見や価値を創出することができる。

上記のディプロマポリシーは目的に照らして、自己点検・評価の結果、相応しいものと認めた。